

# 多人数授業わくわく

## 香美「小学校連携」スタート

町

香美町は、小規模小学校が連携して合同授業に取り組む「学校間スーパー連携チャレンジプラン」をスタートさせ、初めての授業が23日、小代区の町立小代小などで行われた。児童らは日頃より大勢で学ぶ授業に興味を示していた。

### 新しい友達でき笑顔

同プランは、香住小を除く9校を香住区と村岡・小代両区の2グループに分け、同学年同士が合同授業や特別

学習に取り組む。児童の社会性を養い、学力向上を図るのが狙い。年間10回、計30時間を計画。県内では初めての取り組みとなる。

小代小ではこの日、村岡区の射添小児童と1・2年生、3・4年生は近くのおじろドーム

ムで仲間づくりゲームや体育を行った。両校の児童が交ざった班を編成。じょんけんどにアヒルやウサギなど成長していく「成長ゲーム」を楽しみ、お互いに打ち解けた。体育ではリレー競技を行い、広い体育館で思い切り体を動かした。

小代小2年、藤本あいりさんは「大勢で体育やゲームができるので課題を検証しながら、成果を出したい」と話している。

(前嶋英雄)



ゲームを楽しみながら打ち解ける小代、射添両小の1、2年児童ら=23日、香美町小代区実山のおじろドーム